

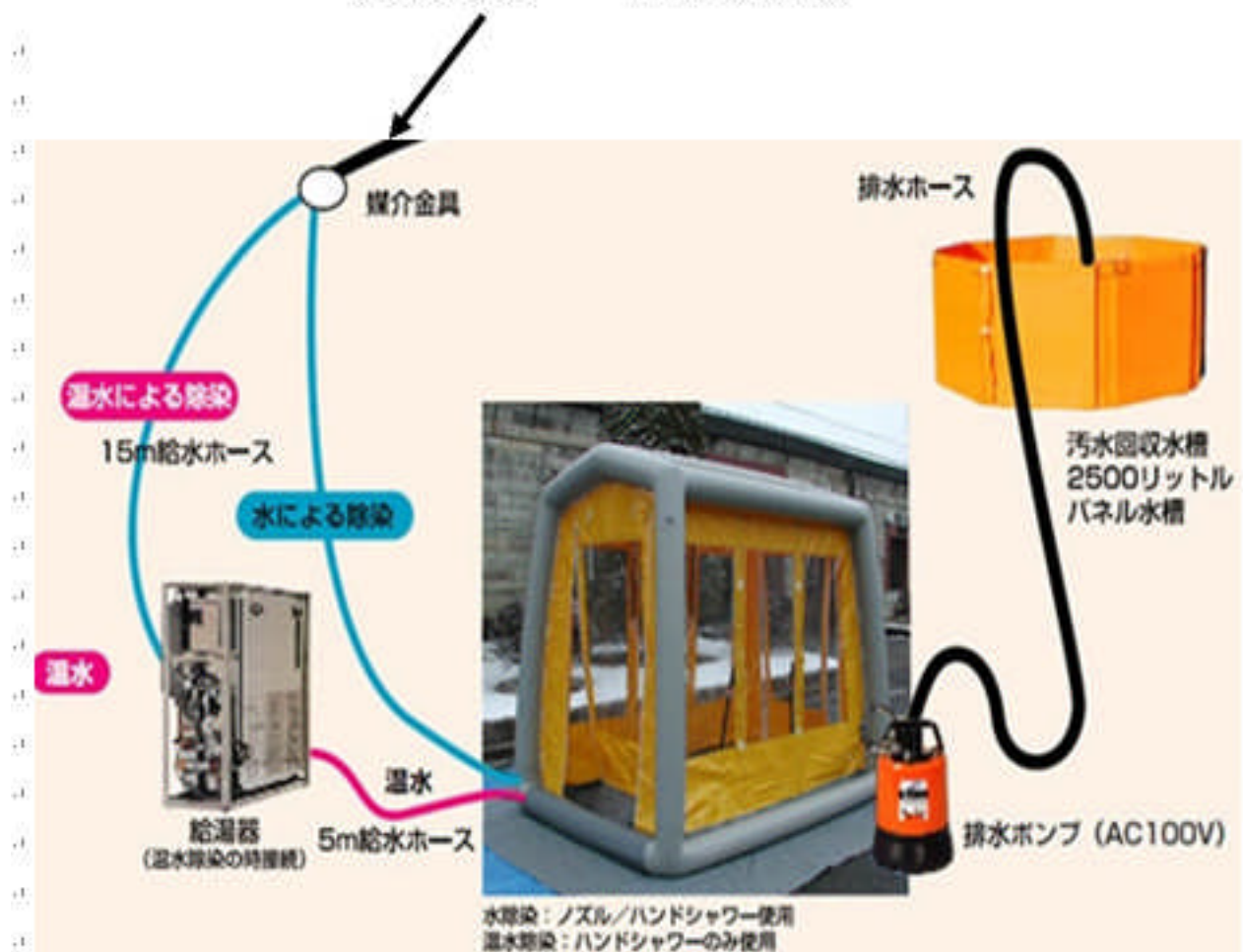
平成23年度 原子力防災資機材取扱合同訓練(茨城県日立保健所)

茨城県では、平成11年9月30日に東海村で発生した核燃料加工施設（JCO）での臨界事故を教訓に、県北3保健所（日立・常陸大宮・ひたちなか）に除染用テント等が配備された。

今年度、除染用テント及び温水器が新たに更新されたため、関係機関と合同で取扱訓練を行った。

除染用（シャワー）テント、温水器の接続概要

（水道蛇口・消火栓等）





◎エア注入後約5分間で立ち上げ可能



◎非汚染区域に汚染水が入らないように段差を付ける。汚染区域の汚染水はポンプで汚染水回収水槽へくみ出す。



◎温水器の燃料は灯油を使用する。
専用バルブを開放して、エア抜きを行い、



◎長いホースを水道水（消火栓等）へ
短いホースはテント（注入口）へ接続
する。



◎ 温水回収水槽は上部を専用金具で固定する。



◎シャワーテントの全体像
手前（シャワー室）・奥（更衣室）



◎ プライバシーキット
全身除染後、着替えまで使用する。



◎更衣用スポーツジャージ
冬季用にジャンパーの配備が望まれる。

